

演題プログラム

第1日 6月27日(土)

セッション 1 13:00~14:10

座長 加藤 宣之

1 ダニ媒介性フラビウウイルスの調査

○下田 宙¹、早坂 大輔²、好井 健太郎³、米満 研三¹、楢田 龍星¹、高野 愛¹、前田 健¹

¹山口大学共同獣医学部 獣医微生物学教室

²長崎大学熱帯医学研究所 ウイルス学分野

³北海道大学大学院獣医学研究科公衆衛生学教室

2 新規血清型フェレットコロナウイルスの解析

◎南 昌平¹、寺田 豊¹、米満 研三¹、楢田 龍星¹、下田 宙¹、前田 健¹

¹山口大学・獣医微生物学

3 野生動物、狩猟者のE型肝炎ウイルス感染状況調査

◎米満 研三¹、高野 愛¹、下田 宙¹、Dung Nguyen¹、武藤 正彦²、鈴木 一男³、Worawut Rerkamnuaychoke⁴、前田 健¹

¹山口大学共同獣医学部

²山口大学医学部

³ふるさと自然公園センター

⁴カセサート大学獣医科学部

4 アフリカに生息するストローオオコウモリ (*Eidolon helvum*) におけるフィロウイルスの血清疫学調査

○小川 寛人¹、宮本 洋子、中山 絵里、吉田 玲子、中村 一郎、澤 洋文、石井 秋宏、トーマス 由佳、中川 恵美子、松野 啓太、梶原 将大、丸山 隼輝、直 亨則、村松 美笑子、黒田 誠、Edgar Simulundu、Katendi Changula、Bernard Hang'ombe、Boniface Namangala、Andrew Nambota、Jackson Katampi、五十嵐 学、伊藤 公人、Heinz Feldmann、杉本 千尋、Ladslav Moonga、Aaron Mweene、高田 礼人

¹北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター(現・岡山大学大学院医歯薬学総合研究科病原ウイルス学分野)

ザンビア大学獣医学部

5 野生動物におけるSFTSウイルス感染状況の調査(2014)

◎浜崎 千菜美¹、楢田 龍星¹、下田 宙¹、高野 愛¹、鈴木 和男²、森川 茂³、前田 健¹

¹山口大学・獣医微生物学教室

²田辺市ふるさと自然公園センター

³国立感染症研究所獣医科学部

特別講演 1 14:10～14:45

座長 景山 誠二

人工 DNA 結合タンパク質でウイルス感染をブロック～医療・農業への応用

世良 貴史

岡山大学大学院 自然科学研究科 生命医用工学専攻

休憩 14:45～15:00

セッション2 15:00～16:10

座長 藤井 豊

6 牛舎捕集蚊由来新規 RNA ウイルスの性状解析

○ 楢田 龍星、杉山 弘樹、黒田 雄大、下田 宙、前田 健

山口大学共同獣医学部獣医微生物学教室

7 Genome sequence analysis of *Rice necrosis mosaic virus*, a fungus transmitted by *Bymovirus*

◎ Wagh G. S.¹, Kobayashi, K.², Yaeno T.², Yamaoka, N.², Nishiguchi, M.²

¹The United Graduate School of Agricultural Sciences, Ehime University.

²Faculty of Agriculture, Ehime University

8 次世代シーケンサーを用いたテンサン核多角体病ウイルスのゲノム配列解析(第2報)

◎ 佐々木 邦¹、梶浦 善太²、小林 淳^{1,3}

¹鳥取大学大学院連合農学研究科

²信州大学繊維学部

³山口大学農学部

9 B型肝炎ウイルスの細胞からの放出機構の研究

○ 坂口 剛正、川端 涼子、吉元 玲子、小田 康祐、福士 雅也、入江 崇

広島大学大学院医歯薬保健学研究院ウイルス学研究室

10 cGAS-STING シグナル経路はB型肝炎ウイルスの感染と会合を制御する

○ 團迫 浩方¹、上田 優輝¹、奥村 暢章¹、佐藤 伸哉¹、杉山 真也²、溝上 雅史²、池田 正徳³、加藤 宣之¹

¹岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 腫瘍ウイルス学

²国立国際医療研究センター研究所 肝炎・免疫センター

³鹿児島大学大学院医歯学総合研究科附属難治ウイルス病態制御研究センター

特別講演 2 16:10～16:45

座長 山田 雅夫

国際連携とウイルス感染症研究

生田 和良

一般財団法人 阪大微生物病研究会 研究開発部門 (大阪大学名誉教授)

休憩 16:45～17:00

セッション3 17:00～17:56

座長 伊藤 壽啓

- 11 HCV の細胞内複製を許容する肝がん細胞におけるエクソソーム調製法の確立
◎平本 洸貴¹、團迫 浩方¹、上田 優輝¹、佐藤 伸哉¹、池田 正徳²、加藤 宣之¹
¹岡山大学 大学院 医歯薬学総合研究科 腫瘍ウイルス学分野
²鹿児島大学 難治ウイルス病態制御研究センター 分子ウイルス感染研究分野
- 12 抗HCV薬リバビリンの脂質生合成系における新規機能解析
○佐藤 伸哉、上田 優輝、團迫 浩方、加藤 宣之
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科腫瘍ウイルス学分野
- 13 強い抗HCV活性が見出された抗マラリア化合物の臨床応用に向けた研究とDAAとの併用効果
○上田 優輝¹、團迫 浩方¹、佐藤 伸哉¹、池田 正徳²、加藤 宣之¹
¹岡山大学大学院医歯薬学総合研究科腫瘍ウイルス学分野
²鹿児島大学大学院医歯薬学総合研究科附属難治ウイルス病態制御研究センター 分子ウイルス感染研究分野
- 14 HCV-RNA の長期複製により顕著な発現低下を示したCPB2遺伝子の機能解析と発現制御機構の解析
◎瀬島 寛恵¹、佐藤 伸哉¹、團迫 浩方¹、上田 優輝¹、金子 周一²、本多 政夫²、池田 正徳^{1,3}、加藤 宣之¹
¹岡山大学大学院医歯薬学総合研究科腫瘍ウイルス学分野
²金沢大学大学院医薬保健学総合研究科
³鹿児島大学大学院医歯薬学総合研究科分子ウイルス感染研究分野

幹事会（ 於 会場ロビー） 18:00～18:30

情報交換会（山陽ハイツ本館 2F・雅）

第2日 6月28日(日)

セッション4 9:00-10:25

座長 齊藤 峰輝

- 15 流行期間内に生じるインフルエンザウイルスの限られた変異:過去5年の鳥取県分離株の解析結果より
◎吉田 優、常城 朱乃、井東 朗子、景山 誠二
鳥取大学医学部ウイルス学分野
- 16 インフルエンザウイルスの流行と増殖能との関係
○常城 朱乃¹、景山 誠二¹、鳥取県感染症懇話会関係者
¹鳥取大学医学部ウイルス学分野
- 17 ニューカッスル病ウイルスのHN蛋白アミノ酸置換と病原性との関係
○伊藤 啓史、伊藤 壽啓
鳥取大学農学部共同獣医学科獣医公衆衛生学教室
農学部附属鳥由来人獣共通感染症疫学研究センター
- 18 センダイウイルスV蛋白質と複数のIFN誘導関連因子との相互作用様式の解明とその意義
川端 涼子、小田 康祐、◎三宅 純、坂口 剛正、入江 崇
広島大学大学院医歯薬保健学研究院ウイルス学研究室
- 19 センダイウイルスCタンパク質によるSTAT2リン酸化阻害機構の解明
○小田 康祐¹、小田 隆²、的場 康幸³、入江 崇¹、佐藤 衛²、坂口 剛正¹
¹広島大学大学院医歯薬保健学研究院ウイルス学研究室
²横浜市立大学生命医科学研究科構造生物学研究室
³広島大学大学院医歯薬保健学研究院遺伝子制御科学研究室
- 20 クマザサ抽出液および銅クロロフィリンナトリウムの抗ウイルス活性
◎井東 朗子、吉田 優、常城 朱乃、景山 誠
鳥取大学医学部感染制御学講座ウイルス学分野

特別講演 3 10:25~11:00

座長 坂口 剛正

ボルナウイルス:RNAウイルスと宿主の共進化

朝長 啓造

京都大学ウイルス研究所ヒトがんウイルス研究分野

休憩(優秀発表賞投票・集計) 11:00~11:15

セッション5 11:15~12:10

座長 前田 健

- 21 HTLV-1関連疾患の発症に関与するHBZ蛋白の検出・定量系開発とHTLV-1感染者検体解析への応用
○塩浜 康雄、内藤 忠相、後川 潤、齊藤 峰輝
川崎医科大学微生物学教室

- 22 インフルエンザウイルスの感染行動における運動メカニズム
○堺 立也¹、西村 信一郎²、内藤 忠相¹、齊藤 峰輝¹
¹川崎医科大学微生物学教室、²JamGuard
- 23 インフルエンザウイルス感染の交差防御を担う宿主細胞の特定と機能解析
○後川 潤、塩浜 康雄、齊藤 峰輝
川崎医科大学微生物学教室
- 24 インフルエンザウイルスのヌクレオタンパク質における新規アセチル化修飾の
発見
○畠山 大¹、庄司 正樹¹、楊 理奈¹、大海 菜穂¹、竹中 志織¹、山吉 誠也²、
新垣 優美絵¹、増田 麻来¹、小松 嗣典¹、中野 博²、野田 岳志²、河
岡 義裕²、葛原 隆¹
¹徳島文理大学・薬学部・生化学
²東京大学・医科学研究所・ウイルス感染分野

優秀発表賞表彰・記念撮影

発表形式は以下の通りと致します。

一般演題：発表時間 10 分、質疑応答 3 分

特別講演：発表時間 30 分、質疑応答 5 分

発表に使用する PC は、Windows(MS Office Professional plus 2013)、Mac(MS Office 2011)を用意いたします。

データは事前にメールにて事務局(pmi@okayama-u.ac.jp)までお願い致します。

その際、PC の希望をお申し出ください